

全身型CTの活用により 理想の診療スタイルを目指します。



医療法人 エターナル
ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

院長 **福岩 達哉**

Profile

鹿児島大学医学部卒業を卒業後、平成7年に鹿児島大学大学院医学研究科(耳鼻咽喉科学専攻)に入局。平成19年に鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科の講師に。平成20年にクリニック開業

- 医学博士
- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
- 日本気管食道科学会認定専門医
- 日本がん治療医認定機構がん治療認定医
- 日本アレルギー学会認定専門医
- 日本アロマセラピー学会認定医

全身型CTを導入した理由とは？

耳鼻咽喉科の診断では、全身型CTスキャンの活用が非常に有効です。検査すべき部位は複雑に入り組んだ頭蓋骨の中にあります。また症状の原因が肺や大血管などにある場合も考えられ、胸部の検査も必要になります。耳鼻咽喉科診療所での導入は全国的にも珍しいですが、「臨床最前線にある診療所でも、高度医療機関と同レベルの検査・診断を行う」ことが理想であるため、導入を

決めました。

その有効性は多岐にわたり、例えば、副鼻腔炎と上顎がんの鑑別、中耳(鼓膜や耳小骨)の精密検査、顔面外傷による骨折の診断、などが挙げられます。また魚の骨を誤って飲み込んだ下咽頭異物例でも、CTにて安全に場所を特定できます。それによって、適切な治療を効率良く行えるわけです。そしてもう一つ、患者さんが「わかる」という利点もあります。病状や治療法について説明

する際に画像を供覧することで、患者さんの病気への理解もより深まるのです。

思わぬ危険な病気が発見されることも？

大学時代、私は頭頸部のがんを専門にしていました。その中で痛感したのが早期発見・早期治療の重要性です。新規開院時に、電子内視鏡システムや全身型CTなど高度な検査装置を導入したのもこのためです。一方、たとえば風邪症状であっても重大な病気が隠れている場合があります。「風邪で声がかすける」という方に声帯麻痺を認め、原因を調べるため胸部CTを撮影したところ胸部大動脈瘤が発見された、というケースがこの6年間で8例ありました。診療所における全身型CTの有効性を裏付けるデータです。継続的な喉の違和感、舌の痛み、耳鳴りといった自覚症状のある方は、一度しっかりと検査することをお勧めします。

診療科目

- ☐ 耳鼻咽喉科
- ☐ 頭頸部外科
- ☐ 気管食道外科
- ☐ アレルギー科
- ☐ 小児耳鼻咽喉科

医療法人 エターナル
ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

TEL. 0993-53-3387 FAX. 0993-53-3055

(住 所) 南さつま市加世田本町22-5

(U R L) <http://www.fukuwa-clinic.com/>

(駐 車 場) あり

(アクセス) 谷山ICから車で30分、枕崎市街から車で25分、鹿児島交通加世田駅ステーションから徒歩2分



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	○	○

※土曜日午後17:00まで受付です。
※木曜日、日曜日、祝祭日は休診です。